

2016.9.20

医療法人 石和温泉病院 デイサービスいさわ 運営推進会議 資料

平成28年度 第1回運営推進会議

デイサービスいさわ

〒400-1504 甲府市右左口町 1260-1

TEL 055-266-7070

FAX 055-266-7075

【デイサービスいさわ運営方針について】

今年度より小規模型サービスは地域密着型サービスへと移行しました。規定にある運営推進会議を設置しながら、活動状況の報告や、感想・意見を求め交換し合えるなど、適正な運営サービスの質の向上に努めます。

また、今年度より介護予防事業は順次、日常生活支援総合事業（以下、総合事業）に移行するにあたり、新たな利用者やサービスの提供が求められるため、新事業にもしっかり対応し、従来の利用者と同様なサービスの質を維持しながらサービス提供を行なって参ります。

さらに、利用者の自立した生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能維持向上を図ると共に、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図るよう、次の方針に沿って石和温泉病院デイサービスいさわの機能を十分に活かした運営を行なって参ります。

【運営方針】

- (1) 地域住民や利用者の意見をできる限り反映した管理運営を行ないます。
- (2) 秘密の保持及び個人情報の保護を徹底します。
- (3) リハビリテーション専門病院である石和温泉病院のデイサービスとして、デイサービスいさわの機能を最大限に発揮すると共に、より効率的な運営を行ないます。
- (4) 職員の経費節減意識の徹底により、管理運営費の縮減に努めます。
- (5) 利用者の方への適正なサービス提供のために、継続的な記録の保持に努めます。
- (6) 介護予防・日常生活支援総合事業に対応した運営ができるように推進します。
- (7) 訪問リハビリテーションマネジメントの一環である、社会参加支援の一端となり、その受け皿としての機能を発揮します。

1. 活動状況の報告及び評価について（平成28年4月～8月）

(1) 利用について

区分	実施業務の概要	備考
利用内容	<p>介護保険法の趣旨に従い、利用者がその有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう支援していくために、利用者に対する介護保険給付対象サービスとして、次に掲げる必要な日常生活上の支援・援助と身体機能・生活機能に応じた機能訓練など多彩な介護サービスを提供した。</p> <p>また、医療法人石和温泉病院を母体とする当事業所において、医療スタッフである理学療法士を常勤配置し、回復期リハビリテーションや訪問リハビリテーションと何ら変わらない質の機能訓練を提供すると共に、介護保険下で求められる“活動と参加”を念頭に置いた生活期リハビリテーションの提供を個別機能訓練として実施している。</p> <p>新たに、総合事業での利用者の潜在的なニーズや生活環境・身体状況を把握することによって、地域包括支援センターや地域住民などと連携を図りながら新しいサービスを提供できるように推進した。</p> <p>尚、利用者への介護サービス提供内容等について、利用者及び家族等に対して、理解できるよう十分な説明をした。</p> <p>○主なサービス内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活上の援助・助言 ・心身の健康状態の確認・把握 ・機能訓練サービス <ul style="list-style-type: none"> 在宅環境整備、介護方法の指導 ・送迎サービス ・入浴サービス ・食事サービス ・レクレーション 	

利用状況

【石和温泉病院デイサービスいさわ】

- 1 実施地域 甲府市南地区
- 2 営業時間 午前8時30分から午後5時
- 3 営業日 月曜日から金曜日（祝日含む）
- 4 サービス提供時間
午前9時20分から午後4時30分
- 5 休業日 土曜日・日曜日・年末年始

6 利用目標

営業範囲の中心となる甲府市南地区は、山間部へ近付くにつれ高齢化が進行し農業中心の地域特性のため、年間の利用実績は季節や曜日によって変動がある。特に農繁期・冬季は施設入所や入院する利用者が多くなっていることから、安定した利用者の確保が難しい状況にあるが、平成28年度上半期（下半期11名）は1日利用平均10名を目標とした。

今年度より移行した地域密着型通所介護事業所としての特徴を活かし、甲府市南地区の住民に身近な施設運営を目指したPR活動に努めていきたいと思っている。

また、医療法人石和温泉病院のデイサービスとしての特徴である、リハビリテーションと在宅訪問指導、自立支援のためのサービス提供に努め、適正な運営が図れるよう事業を実施した。

7 利用者数（単位：人）

項目	8月	累計 4～8月
利用者数	32名	
延べ人数	232名	1,128名
通所介護利用者数	25名	
通所介護利用者延数	201名	1,032名
介護予防利用者数	5名	
介護予防利用者延数	27名	78名
総合事業利用者数	2名	
総合事業利用者延数	8名	18名
稼働日数	23日	
1日平均	10名	10.4名

(2) 管理運営について

① 事業実施状況

業務	実施業務の概要	実施時期	備考
<p>甲府市における老人デイサービスセンター条例第3条に規定する事業に関する業務【具体例】</p>	<p>1. 送迎サービス 利用者の身体状況に応じた車両で自宅からデイサービスまで安全に送迎を実施した。</p> <p>2. 食事サービス 栄養ならびに利用者の身体状況及び好みに考慮した食事を提供した。</p> <p>3. 機能訓練 利用者の心身・生活環境等の状況に応じて、よりその人らしい日常生活を営むために必要な機能の回復、生活機能の向上、又はその減退を防止するための訓練を提供した。 【訓練内容】 歩行練習、基本動作練習、バランス練習、筋力強化・関節可動域拡大練習、作業・言語療法等</p> <p>4. 創作活動・脳トレ活動・作業療法 創作活動や四季折々の行事の企画及び参加により、生活や環境に変化を持たせ、季節を感じることで、気分転換を図ることなど、社会参加を通じて生きがいを感じて頂けるよう活動した。 ・四季の花々の見学・観賞 ・誕生日会 （桜・バラ・あじさい・桃など） ・利用日確認カレンダー作り。工作・計算・ぬりえ等の脳トレトレーニングプリント。 ・季節のイベント（正月、節分、ひな祭り、七夕、敬老会、運動会、クリスマス）</p> <p>5. 健康チェック 体温、血圧、心拍数、経皮的動脈血酸素飽和度の測定、水分摂取量、内服状況を確認し、身体状況を把握すると共に異常の早期発見に努め、健康に過ごせるように援助した。</p> <p>6. 生活相談 相談を通じて本人や家族が抱えている問題を把握し、居宅サービス計画に沿った円滑な援助が出来るよう、ケアマネジャーとの連携のもとに支援した。</p>	<p>通 年</p>	

業 務	実施業務の概要	評 価
その他	<p>○創作活動・作業療法等</p> <p>4月期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月カレンダー作成 ・レクレーション （風船バレー、紙コップ並べゲーム、ボールキャッチゲーム、山の手線ゲーム、カラオケ） ・創作レク：フェルトで作るシロツメグサ ・季節レク：お花見（風土記の丘） ・畑仕事：小松菜、チンゲン菜収穫 <p>5月期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月カレンダー作成 ・3、4月のアルバム作り ・レクレーション （棒サッカー、ボウリング、ジェンガ、風船バレー、紙コップ並べ、山手線ゲーム） ・創作レク：かぶとの切り絵 ・季節レク：バラ見学（みさかの湯） ・誕生日会：13日ホットケーキ作り ・畑仕事：じゃがいも収穫 	<p>4月</p> <p>「シロツメグサ作り」ではフェルトが扱いやすく、職員の手伝いがなくても利用者様自身で作業される部分が多く、2つ目も作りたいとの声が多く上がり好評だった。</p> <p>「お花見」では、例年は数箇所に出掛けていたが、天気恵まれず近場の「風土記の丘」のみになった。複数回利用の方は同じ場所に何回も行く事になってしまったが、外の空気に触れ桜の下でおやつを食べ楽しかったとの感想を頂けた。</p> <p>5月</p> <p>「みさかの湯バラ見学」では、満開のバラと香りに皆さん癒され、五感に良い刺激となった。ただ、屋外トイレが無く、施設内にて利用となる。</p> <p>「かぶとの切り絵」は作業が細かく苦戦されており職員の手伝いが必要だった。もう少し簡単な作業の提案をしていきたいと反省点としてあげた。</p>

	<p>6月期</p> <ul style="list-style-type: none"> • 7月カレンダー作成 • レクレーション (棒サッカー、カラオケ、風船バレー、うちわゲーム、ビンゴ、10品当てクイズ) • 創作レク：あじさいの写真立て、七夕飾り作り • 季節レク：あじさい見学 (市川大門町、個人宅裏山の自由見学。道の駅ふじかわ休憩) • 料理レク：梅ジュース作り • 誕生日会：15日、23日ホットケーキ作り • 大正琴鑑賞：「鈴かけの会」の皆様の御好意により(20日) <p>7月期</p> <ul style="list-style-type: none"> • 8月カレンダー作り • 5月、6月のアルバム作り • レクレーション (カラオケ、山の手線ゲーム、紙コップ並べゲーム、洗濯バサミゲーム、輪投げ・輪回しゲーム、スイカ割り) • 創作レク：ひまわり・あさがおのちぎり絵 • 七夕飾りつけ • 季節レク：七夕会(6, 7日)→昼食作り(おにぎり、そうめん、野菜切り) • 料理レク：七夕昼食作り、ほうとう作り(19, 20日) 	<p>6月</p> <p>「あじさい見学」では、一般の方が500株のあじさいを育てられ公開されており、事前連絡の上見学させて頂いた。山の斜面一面のあじさいに皆さん感動されていた。足場の悪い所もリハビリになり、自主的に散策されていた。</p> <p>大正琴鑑賞会では見事な演奏と迫力ある音響で大好評であった。以前に、大正琴をしていたことがある利用者さんは感化された様子だった。</p> <p>7月</p> <p>「ほうとう作り」では、ほとんどの方が昔作られた事があるとの事で、自主的に参加して下さり、麵打ちから味付けまで行った。「やっぱり手作りはおいしい」と昔を懐かしがられていた。</p> <p>「七夕会」では事前に飾り作り・飾りつけを行ない、気持ちを高めてから当日を迎えた。昼食のそうめん・おにぎり作りから、七夕の謂れを勉強し歌を歌い、季節を味わって頂いた。</p>
--	--	--

	<p>8月期</p> <ul style="list-style-type: none"> • 9月カレンダー作り • レクレーション (スイカ割り、風船バレー、お箸を使ったゲーム、輪投げ、バスケットボール、卓球) • 創作レク：花瓶作り • 料理レク：カレー（19日） • 誕生日会：19日、26日 • 外出レク：イオンタウン（11日） バーミヤン豊富店で昼食 イオンモール甲府昭和で買い物（共に15日） 	<p>8月</p> <p>畑で大事に育ててきたスイカが豊作で、「スイカ割り」を行った。目隠し的外れな所を叩くと皆さん大笑いしていた。自分たちで作ったスイカの味は格別な様子だった。</p> <p>「買い物・外出レク」では、お盆と重なり利用者休みが多かったこと、普段買い物に行けない方の要望も踏まえ実施した。久しぶりに自分の目で見て物を選び、お金を払ったと喜ばれていた。買い物に興味のない男性利用者も今日とはばかりに感心していた。ただ、女性利用者の買い物を待つことができない、いわゆる家庭でのお父さんの一面が覗けた。全体的に心身の良いリハビリになった。</p>
--	---	--

② 施設等の維持保全

業 務	実施業務の概要	実施時期	備 考
清掃業務	1 デイサービス施設内全般 2 デイサービス敷地内全般	毎終業時 玄関回りは毎始業時 庭・駐車場等は概ね 月2回（適宜）	定期的に 当院総務 課から清 掃部隊派 遣
設備保守	1 食堂ガスコンロ保守点検 2 空調設備等保守点検 3 給水・排水管保守点検 4 エコキュート保守点検 5 電気保安設備保守点検	年2回 適宜 年1回 年1回 年2回	当院施設 課・当院協 力業者が 分担して 適宜実施
警備	機械警備・警報装置なし	今後検討	
消防・防災	消防用設備等保守点検	年1回	
車両	1 送迎車両日常点検 2 送迎用車両法定点検・整備	毎始業・終業時 法定点検日毎	
備品等	備品等維持管理	随時	
その他	1 備蓄管理 （20名分を3日間分） 2 植栽管理	適宜 適宜	当院連携 当院施設 課・デイ職 員で実施

③ その他運営

業 務	実施業務の概要	実施時期	評 価
サービスの向上に関する事項	<p>1 サービス向上に向けた方策</p> <ul style="list-style-type: none"> イ 相談窓口の明るく親切な対応 ロ 居宅介護支援事業者との緊密な連携 ハ 利用者の安全と利便性向上に配慮した施設内の点検整備 ニ 職員の技術向上及び意識改革を目的とした各研修会への参加と情報共有 ホ 利用者に対する爽やかな対応 <p>2 利用者ニーズの把握及び環境改善への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> イ 居宅介護支援事業者（介護支援専門員等）からの利用申込への迅速な対応 ロ 利用者本人及び家庭環境の把握（個人情報保護には厳密に対処） ハ 利用者の住環境の把握・改善へのアドバイス ニ 家庭的な施設を目指した環境づくり ホ 利用者の個性や趣味・興味等を踏まえた生活リハビリテーションの実施、個別リハビリテーションの実施。 ヘ 家族の介護負担軽減等を踏まえたサービス提供時間の配慮（送迎含む） ト 家族等に対する介護方法や介護に必要な情報の提供・アドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅で行なえるリハビリ自主練習 ・ 夏の熱中症対策 ・ 高齢者に多い脱水とその対策 チ 個々の利用者の利用形態に対応したサービス提供（利用時間、送迎、入浴） 	<p>通 年</p> <p>適 宜 6月講義 6～7月 適宜指導 7月実施 適 宜 7月配布</p>	<p>1 継続してサービス向上に向けて職員研修会に参加する。当院研修会も併用する。</p> <p>2 継続して家族介護負担に目をむけ、必要な情報提供やアドバイスを実施する。また、施設利用アンケートを実施し利用者ニーズの把握及び環境改善に努めます。</p>

	<p>3 事故等の防止及び苦情等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> イ 施設内苦情相談窓口の設置 ロ 苦情相談内容の職員への伝達及び業務改善検討ミーティングの実施 ハ 契約書及び重要事項説明書への記載及び利用者等への十分な説明 ニ 苦情への迅速な対応 ホ 「相談・苦情対応マニュアル」の作成と徹底 ヘ 事故発生後の当院連携室及び総務課との連携を図り、迅速な対応及び報告と家族への真摯な対応 <p>4 利用者の安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> イ 「緊急時対応マニュアル(事故・防災・感染症等)」の徹底 ロ 緊急時対応訓練(火災・避難・誘導・消化訓練) ハ 利用者の急病等における「利用者救急対応マニュアル」の徹底 ニ 救急対応時の職員の連携(消防署通報等) ホ 「事故発生・再発防止マニュアル」の徹底(異常事態の把握、ヒヤリ・ハット、リスクマネジメントを職員間で共有) 	<p>随 時</p>	<p>3 引き続き事故の無いように業務に従事していく。</p> <p>4 9月に防災訓練の実施。先に行なう当院防災訓練での反省点等を踏まえ実施する。</p>
<p>利用促進等に関する事項</p>	<p>1 広報活動等の計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> イ 総合在宅支援室の広報誌へデイサービスいさわの特色・活動状況を紹介 ロ デイサービスいさわのチラシの作成・配布 ハ 利用者及び家族からの施設への希望等の聴取を行ない、その内容の把握及び改善・実施 ニ イベント参加・当院通所リハビリテーション、山梨市にある同型デイサービ 	<p>随 時</p>	<p>1 総合在宅支援室広報誌等から事業広報活動に努めた。</p>

	<p>スとの交流</p> <p>ホ 利用者作成品の展示</p> <p>ハ 見学者、体験希望者の積極的な受け入れ</p> <p>2 地域、各種団体及び他施設との連携</p> <p>イ 運営推進会議の開催</p> <p>□ 各病院・居宅介護支援事業者との退院時カンファレンス、サービス担当者会議への出席、情報交換</p> <p>ハ 他事業所への研修派遣・参加</p> <p>ニ ボランティアとの協力</p> <p>ホ 理学療法士養成校実習生の実習受け入れ</p> <p>ハ 家族に対する介護技術や情報の提供</p>	<p>6ヶ月に1回開催</p> <p>随時 今後実施 随時</p>	<p>2</p> <p>運営推進会議の定期開催や、病院連携として退院時カンファレンス、各居宅介護支援事業者とのサービス担当者会議へ出席し利用者の最新情報を取り入れ、介護予防や介護支援に努める。</p>
<p>経費縮減に関する事項</p>	<p>小まめな消灯、不用紙の再利用、カラーコピーの抑制。空調の設定温度の調節、時間帯での使用不使用の調整で省エネに努めた。</p> <p>レクリエーションで必要な物や工作のもとには極力100均を活用。</p>	<p>通年</p>	<p>継続していく。</p>
<p>安全性・信頼性に関する事項</p>	<p>1 安全管理、情報管理に係る計画</p> <p>イ 事故防止への対応</p> <p>事故防止マニュアルに沿って、ヒヤリ・ハットの活用、潜在しているリスク要因を把握、対処法を職員間で共有し、常に事故防止に努め業務を実施。</p> <p>□ 防災等への対応</p> <p>当院・当デイ防災マニュアルを元に防災計画等に知った迅速な対応。</p>	<p>通年</p>	<p>1</p> <p>継続したリスクマネジメントを実施していく。</p>

	<p>ハ 利用者の事故発生への対応 事故対応マニュアルに沿って、的確な指示の中、専門医への搬送を行なう。その際、家族等の付き添いが間に合わない場合には、職員が病院まで付き添い対応する。</p> <p>二 情報管理への対応 個人情報保護法を守り、適正な情報管理を行なうよう、当院職員研修で「個人情報保護研修会」を外部講師招聘し実施した。</p>		<p>当院職員研修を定期的に参加する。</p>
<p>その他</p>			

(3) 管理運営の体制について

- ① 管理者 1名 (機能訓練指導員兼務・訪問リハビリテーションいさわサテライト甲府兼務)
- ② 生活相談員 2名 (介護職員兼務)
- ③ 機能訓練指導員 1名 (管理者兼務)
- ④ 看護職員 2名 (生活相談員兼務、介護職員兼務)
- ⑤ 介護職員 2名 (常勤1名、パート職員1名と兼務合算で2名)

【組織人員一覧表】

役職・職種	担当業務	能力・資格	雇用形態	備考
管理者 (機能訓練指導員)	管理業務 機能訓練業務	理学療法士	常勤正職員	訪問リハビリテーション兼務
介護職員 (生活相談員)	介護業務 相談業務	介護福祉士 社会福祉主事	常勤正職員	
看護師 (生活相談員)	看護業務 相談業務 介護業務	正看護師	常勤正職員	
介護職員	介護業務	介護福祉士	常勤正職員	
介護職員 (生活相談員)	介護業務 相談業務	ヘルパー2級 社会福祉主事	常勤正職員	
看護師	看護業務 介護業務	準看護師	非常勤パート職員	
介護職員	介護業務	介護福祉士	非常勤パート職員	

計 7名

(4) 職員研修等について

業 務	実施業務の概要	実施時期	備 考
職員研修	<p>職員の資質向上や良質なサービス提供を実施するため、人材育成・職員研修による各研修の受講や伝達講習の実施等により、利用者に安心を持って利用される通所介護施設としての運営に努めた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 管理業務に関する研修 2 新入職員オリエンテーション 3 自立支援に向けたリハビリテーションの考え方 4 介護方法指導（トランスファー・床上動作介助・歩行介助・食事介助方法指導等） 5 高齢者虐待・身体拘束排除について 6 接遇について 7 最近の認知症の話題・最新の投薬治療法について 8 集団指導内容伝達 	<p>随 時</p> <p>（日本理学療法士協会主催：7月）</p> <p>4月・5月</p> <p>4月・8月</p> <p>随時</p> <p>院内研修6月</p> <p>院内研修4月</p> <p>第一三共主催</p> <p>WEB 講演会</p> <p>随時</p>	
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成28年度地域密着型サービス事業所及び介護予防・日常生活支援総合事業者集団指導 2 平成28年度介護保険指定居宅サービス事業所等集団指導 	<p>4月28日</p> <p>6月17日</p>	